

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク Bridal hair makeup	年次	2	実務経験	担当	井上満智・長尾建
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分	前期
					曜日・時間	1組(火1.2限)2組(火1.2限)3組(火3.4限)4組(火3.4限)
講師紹介	様々な結婚式場で新郎新婦のヘアメイクを行い、昨今のブライダルトレンドを理解し、実践している講師による授業を行います。					
目的 科目概要	ブライダルヘアメイクの基礎技術、スタイリング方法、トレンドなどを学びます。 ブライダルスタイルを考慮して、ドレスや小物の選定方法、ヘアメイクのデザインセンスを学びます。					
到達目標	ブライダルヘアメイクの授業を通じて、ブライダル業界で活躍するために必要な技術や知識を身につけ、高品質な作品を創り上げることが求められます。また、プレ花嫁へのアドバイスや相談対応など、お客様へのサービスマインドや接客スキルを身につけることも重要です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	配布資料			事前事後 学習と その内容	ブライダルのヘアスタイル・雑誌などをチェックする。	
教材	ヘア道具一式、					
特記事項	エプロンと名札着用で臨む。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ブライダルスタイル(土台)	ホットカラー・コテ巻きのブライダルスタイルの土台作り・ダウンスタイルを作成する。
2	ブライダルスタイル(ハーフアップ)	ホットカラー・コテ巻きの復習及びハーフアップスタイルを作成する。
3	ブライダルスタイル(アップスタイル・ポニーテール)	アップスタイル・ポニーテールスタイルを作成する。
4	ブライダルスタイル(アップスタイル・変形スタイル)	アップスタイル及びお色直して役立つ変形スタイルを作成する。
5	ブライダルスタイル(カウンセリング)	相モデル形式でスタイル相談時のカウンセリングの仕方や注意点を理解し、実践する。
6	試験対策	アップスタイルからお色直しスタイルを練習する。
7	中間試験・期末試験	スタイルチェンジ(アップスタイル→お色直しスタイル)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク (まつエク)	年次	2年	実務経験	担当	川戸 有子
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	1～7週火曜 2組(1・2時限)4組(3・4時限) 1～8週火曜 1組(1・2時限)3組(3・4時限)
講師紹介	H29 東京ベルエポック美容師科通信課程を修了し、現在はまつ毛エクステ、エステ技術者・経営をしております。卒業した母校で講師として携われる事がとてもやりがいを感じます。					
目的 科目概要	近年、まつ毛エクステーションは多くの女性に人気を集めるようになりました。まつ毛エクステーションは、地まつ毛に装着するので危険が伴います。そのため、アイリストとして確かな知識や技術が必要です。私も日々細心の注意を心がけております。安心・安全を第一とする技術者としての自覚や心構えを学んでもらいたいです。					
到達目標	まつ毛エクステーション施術について、安全・衛生面の重要性とともに基本知識・技術を習得する。カウンセリング・デザインからエクステーション装着をマネキンを利用して施術を行う。安全に丁寧に美しく仕上げることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 ■作品 ■提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	忘れ物ないよう毎回確認しましょう	
教材	プリント(補助教材)、ツイーザー2本、付けまつ毛、初回時に配ります。					
特記事項	授業で毎回必ず必要な物 筆記用具・タオル2枚・ツイーザー2本・付けまつ毛・小さいビニール袋・ポケットティッシュ					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	まつ毛エクステーションとは	左右のツイーザーに慣れ、まつ毛をかき分ける。まつ毛をツイーザーの間に1本入れる。
2	カウンセリングについて	まつ毛クレンジング～エアブローのかけ方。エクステーションを練習用のペーパーに装着する
3	まつ毛の構造と毛周期について	マネキンにエクステーションを装着する
4	まつ毛エクステーションのデザインについて	まつ毛エクステーションのデザイン(キュートライン)
5	まつ毛エクステーションの施術の流れ	まつ毛エクステーションのデザイン(セクシーライン)
6	まつ毛エクステーションのトレーニング	まつ毛エクステーションのデザイン(カラーエクステ)
7	定期試験(筆記・実技)	まつ毛エクステーション施術の安心・重要性を理解し、エクステーションを丁寧に美しく仕上げる
8	まつ毛エクステーションとは	左右のツイーザーに慣れ、まつ毛をかき分ける。まつ毛をツイーザーの間に1本入れる。
9	カウンセリングについて	まつ毛クレンジング～エアブローのかけ方。エクステーションを練習用のペーパーに装着する
10	まつ毛の構造と毛周期について	マネキンにエクステーションを装着する
11	まつ毛エクステーションのデザインについて	まつ毛エクステーションのデザイン(キュートライン)
12	課題プリント50問	まつ毛エクステーションについて安全面、衛生面、基本知識などの復習
13	まつ毛エクステーションの施術の流れ	まつ毛エクステーションのデザイン(セクシーライン)
14	まつ毛エクステーションのトレーニング	まつ毛エクステーションのデザイン(カラーエクステ)
15	定期試験(筆記・実技)	まつ毛エクステーション施術の安心・重要性を理解し、エクステーションを丁寧に美しく仕上げる

科目名 (英)	卒業制作 graduation project	年次	2	実務経験	担当	長尾 健		
		授業形態	演習					
		時間数	60	有	開講区分	前期		
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2				曜日・時間	金1.2.3.4
講師紹介	20年以上のキャリアを持ち、メイク・ヘアセットまで幅広く手がける。外資系アーティストを経験後に独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍、ヘアメイク事務所の経営や教育を中心に活躍中□							
目的 科目概要	各自が自由にテーマを設定し、それに基づいたヘアメイク作品を制作する。ファッション・ブライダル・モード・特殊メイクなど、ジャンルを問わず、自身の得意分野や挑戦したいスタイルを反映させる。作品の完成後は撮影を行い、ビジュアルとしてのクオリティも追求。最終的にプレゼンテーションを行い、技術・デザイン・コンセプトの表現力を評価する。							
到達目標	ヘアメイクの集大成として、これまで学んだ技術・知識・表現力を活かし、オリジナルの作品を制作することを目的とする。テーマ設定からヘアメイクのデザイン、撮影、プレゼンテーションまでの一連のプロセスを経験し、現場で求められるクリエイティブ力・実践力・提案力を養う。また、自分の個性や強みを明確にし、プロとしての第一歩を踏み出す準備をする。							
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験							
教科書	配布資料			事前事後 学習と その内容	クリエイティブに繋がる絵画や映画・ヘアメイクスタイルなどを視聴・検索する。			
教材	メイク道具一式・ヘア道具一式							
特記事項								

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	卒業制作ガイダンス&コンセプトシートの書き方	卒業制作の目的・評価基準の説明、作品制作の流れとスケジュール管理 コンセプトシートの書き方(テーマ・ターゲット・世界観)
2	iPadを活用したデザイン構築(デジタルスケッチ)	iPadを使ったデザインの基礎(Pinterest、アイビスペイントの活用) ヘアメイクのラフスケッチ作成 カラーパレット・質感の研究
3	ベースメイク応用(肌質別のテクニック)	ベースメイクの応用技術(ツヤ肌・マット肌・立体感) モデルの肌質に合わせたファンデーションの選定 崩れにくいベースメイクの作り方
4	アイメイク&アイブロウ技術の向上	アイメイクのデザイン(ナチュラル・モード・ドラマティック) アイブロウの形・太さ・カラーのバランス調整 目の形に合わせたアイライン&まつげメイク
5	リップ&チークの応用技術	リップメイクの表現力を高める(グラデーション・マット・ツヤ) チークの入れ方で印象を変える(血色感・立体感)モデルの骨格に合わせた調整方法
6	オリジナルテーマ作品①中間試験対策	中間試験に向けてオリジナルのメイクテーマを考え構築する
7	中間試験	卒業制作をテーマにメイクアップ作品作成
8	ヘアセットの基礎&応用	アイロン・ホットカーラーを使った質感の作り方 スタイリング剤の使い方と仕上げのテクニック モデルに合わせた似合わせヘアの調整
9	アレンジ&アップスタイル技術	編み込み・ねじり・シニヨンなどの応用技術 スタイリングの崩れを防ぐ固定テクニック 作品に合わせたヘアアレンジの最終調整
10	特殊メイク&アーティスティックメイクの応用①	クリエイティブなメイク表現の技術(ベイント) 特殊メイクの基礎(傷メイク・立体造形の活用) コンセプトに合わせたメイクのアクセント作り
11	特殊メイク&アーティスティックメイクの応用②	ヘア・メイク・アクセサリー・衣装をコンセプトに合わせてイメージ作成
12	卒用制作①(テーマ・イメージ・準備)	テーマ・イメージ・ヘアメイクイメージの準備
13	卒業制作②(作成・再構築)	前回の続き、メイクアップ・ヘアスタイルを作成し修正、再構築する。
14	卒業制作③(完成・プレゼンテーション)	作品を完成させ、プレゼンテーションする。
15	定期試験	卒業制作をテーマに作品作成 提出

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	佐藤 翔・南本 和幸
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	前期 1組(火3限)2組(金2限)3組(金3限)4組(火2限)
講師紹介	美容師・ヘアメイク業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・他己紹介	相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする
2	就職対策①	ヘアメイク業界を知り、就職活動がスムーズに行えるようになる
3	就職対策②	面接の基本やポイントを知る
4	模擬面接対策①	模擬面接会に向けての練習を行う
5	模擬面接対策②	模擬面接会に向けての練習を行う
6	模擬面接振り返り	模擬面接を終えての振り返りを行い、今後の就職活動をどう行っていくかを考える。
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる
8	グループディスカッション	スポフェスに向けて、出場種目、クラス衣装を決定
9	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある先品が作れるようになる
10	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
11	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語、を正しく学ぶ。
12	社会人基礎力を身につける②	相手に伝わる『伝え方』を身に着ける
13	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する 夏休みの課題について
14	社会人基礎力を身につける③	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
15	定期試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる

科目名	スチールヘアメイクⅡ	年次	2	実務経験	担当	固本正美
		授業形態	演習			
(英)	Still Hair MakeⅡ	時間数	60	有	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組金1・2限 2組水3・4限 3組水1・2限 4組金1・2限
講師紹介	TVやスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学ぶ、またテーマ合わせたヘアメイクを自分で考えてヘアメイクに落とし込むことができるようになる。作品撮影をして自分の作品を残すことを目的とする					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考え、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンによりオリジナルの作品を残すことを目的とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	1950年代トレンド	50年代(オードリー・ヘップバーン)をアレンジしたデザイン&実技
2	1960年代トレンド	60年代(ツイッギー)をアレンジしたデザイン&実技
3	1980年代トレンド	80年代をアレンジしたデザイン&実技
4	1990年代トレンド	90年代をアレンジしたデザイン&実技
5	2000～2020年代(現代)トレンド	2000～2020年代(現代)トレンドをアレンジしたデザイン考案
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
8	中間試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
9	テーマ 春夏秋冬【春】	日本の季節【春】を表現するヘアメイクを考え表現する
10	テーマ 春夏秋冬【夏】	日本の季節【夏】を表現するヘアメイクを考え表現する
11	テーマ 春夏秋冬【秋】	日本の季節【秋】を表現するヘアメイクを考え表現する
12	テーマ 春夏秋冬【冬】	日本の季節【冬】を表現するヘアメイクを考え表現する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
14	定期試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
15	定期試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ hair&make2	年次	2	実務経験	担当	足立祐季・井上満智
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	1組4組月 3・4限 2組3組月1・2限
講師紹介	現役ヘアメイクアップアーティストでヘアメイク事務所、セットサロンの経営してます。楽しく一緒に学びましょう。					
目的 科目概要	現場目線で実際に現場でオーダーの多い和装や地毛で結う花嫁向けの新日本髪を学ぶ					
到達目標	逆毛のスキルをマスターし、すき毛と併用して美しい面のスタイルが作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	授業中はしっかりメモをとり必ず復讐をすること。	
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	盛りまきおろし	髪を大きく盛るプロセスを学ぶ
2	分け目盛り巻きおろし	スジを美しく作るプロセスを学ぶ
3	編み込み団子	編み込みを併用した髪型を学ぶ
4	カールツインテール	根本の見えない盛り髪ツインを学ぶ
5	カールサイド	カールサイドの基本プロセスと層にするスジを学ぶ
6	カールサイドハーフ	定期試験に向けて美しいシルエットのサイドハーフを学ぶ
7	中間試験(カールサイドハーフ)	30分間で美しいサイドハーフを学ぶ
8	ストレートサイド	ストレートヘアでの逆毛を強化する
9	ストレートハーフ	美しい丸いシルエットで毛流れや方向を学ぶ
10	カールアップ	カールアップのプロセスを学ぶ
11	カールハーフ	毛のつながりを学ぶ
12	カールモヒカン	シルエット、理論を学ぶ
13	自由作品デッサンシートの作成	自由作品に向けてデッサンシートを作成し、練習をする
14	期末試験	期末試験30分
15	自由作品	平成盛り髪ギャルを作り作品撮りをする

科目名 (英)	特殊メイク I Special Effect Make up I	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	1組金1・2限 2組水3・4限 3組月3・4限 4組木1・2限
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画に必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画に必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	適宜参考画像・動画など資料用意します。			事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践いつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取ること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	あざメイク／傷メイク①／火傷メイク①	アザ初日 アザ初目 アザ4日目／すり傷／ワックスを使った傷メイク／ペイントによる火傷メイク(Ⅰ度熱傷)／ワセリンとオブラートによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
2	傷ワックスの応用メイク①	ワックスを使った、つけ鼻／指切れ／裂傷メイク
3	死人メイク／傷ワックスの応用メイク②	ペイントによる死人メイク／ワックスを使った銃創メイク／縫合メイク
4	特殊メイクで再現①	殴られてケガした人の顔メイク
5	老けメイク①(ペイントのみ)	くすみ シミ ホジワ ホジワ たるみ コケ 白髪 老化を表現する
6	ゾンビメイク	老け 痣 火傷 傷 死人メイクの応用でゾンビを表現する
7	中間試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)
8	傷メイク②／火傷メイク②	シリコンパテによる傷メイク／ゼラチンを使った水疱メイク(Ⅱ度熱傷)
9	火傷メイク③	ラテコットンによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
10	伝染性皮膚疾患メイク	3Dトランスファーピーシメイクによる伝染性皮膚疾患メイク
11	特殊メイクで再現②	汗+煤汚れ+火傷の組み合わせた爆撃を逃れた人の顔)
12	男装メイク	つけ髭も含めた男性に見せるメイク
13	老けメイク②	ラテックスを使用した老けメイク
14	ゾンビメイク②	ラテックス・シリコンパテ・汚しを組み合わせたゾンビメイク
15	定期試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)

科目名 (英)	アシスタントプログラムⅢ Assistant programⅢ	年次	2	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	前期
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1・2組水1・2限 3・4組水3・4組
講師紹介	ヘアメイク事務所ビーサイド代表。数多くの現場経験を持ち、また多くのヘアメイクを輩出していた講師が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する					
目的 科目概要	業界理解と作品撮りにより自己表現					
到達目標	業界を理解し、作品を通して、自己表現できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☐ 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	業界講話	TV業界について
2	業界講話	出版業界について
3	業界講話	音楽業界について
4	業界講話	ドラマ・映画業界について(座学)
5	撮影①	作品撮影について(座学)
6	撮影②	撮影実習プレゼン(座学)
7	まとめ	ヘアメイクの就職活動について(座学)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	佐藤翔・南本和幸
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組(金2限)2組(金4限)3組(金1限)4組(金3限)
講師紹介	美容師・ヘアメイク業界に従事してきた講師が、就職活動に向けスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた現在の美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力を伝え発揮する能力を養っていく。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 冠婚葬祭
2	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 テーブルマナー
3	社会人基礎力を身につける	社会人に必要な知識を身につける。 税金、保険、年金
4	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
5	グループディスカッション	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。
6	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置や、どうすれば印象に残せるか学ぶ。
7	中間試験	前期を振り返り後期に向けての目標を明確にする。 社会人マナーの筆記テスト
8	社会人基礎力を身につける	伝える力、読み取る力を学ぶ。
9	グループディスカッション	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。 上座・下座
11	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。 電話対応
12	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
13	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
14	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
15	定期試験	学んだ社会人基礎力が定着しているかの確認を行い、卒業後の過ごし方を考える。

科目名 (英)	デザインヘアメイク design hair and makeup	年次	2	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組金3・4限 1・2限 2組水1・2限 3組火3・4限 4組火1・2限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	デザインヘアメイクの授業では、クリエイティブな発想力や技術力を身につけ、自身のオリジナルなアートワークを創り出すことが目的となります。					
到達目標	クリエイティブな発想力の向上が求められます。また、ファッションやトレンドに敏感な視点を持ち、広告、舞台やコスプレなど、多様な技術やスタイルに触れ、自分の個性を発揮することが重要です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □作品					
教科書	世界コスプレ技術検定協会公式テキスト			事前事後 学習と その内容	クリエイティブな絵画や映画を視聴する。	
教材	ヘア・メイク道具一式 衣装 小物 ウィッグなど					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エレメントデザイン①	火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
2	エレメントデザイン②	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
3	エレメントデザイン③	前回と別の火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
4	エレメントデザイン④	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
5	ハロウィーンデザイン①	ハロウィーンをテーマにデザインを作成する。
6	ハロウィーンデザイン②	ハロウィーン作品を完成させる。
7	中間試験	クリエイティブな作品提出
8	広告①	クリエイティブなヘアメイクアップアーティストは、ファッションショー、雑誌の表紙、映画、CMなどのプロジェクトで重要な役割を果たしています。CM広告を作成
9	広告②	コレクションをイメージした広告を作成。
10	コスプレ①	アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、メイクアップ・ウィッグをデザインします。
11	コスプレ②	アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、メイクアップ・ウィッグを実習する。
12	アニマルデザイン①	アニマルをテーマにデザインを作成
13	アニマルデザイン②	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
14	12星座デザイン①	12星座をテーマにデザインを作成
15	期末試験対策	12星座をテーマに作品制作

科目名 (英)	美容総合技術 Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	永山 豊
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組火3・4限 2組火1・2限 3組水3・4限 4組水1・2限
講師紹介	表参道をはじめとした東京、千葉、札幌に10店舗展開しているサロンのマネージャー。 人事としても活動し、リクルートセミナーや外部講師としても活躍している。					
目的 科目概要	目的:シャンプーブロー、スタイリング技術の習得。 概要:基礎技術向上に加え、美容職としての心構えやプロ意識、ホスピタリティを学ぶ					
到達目標	ゲストに求められる技術を提供でき、コミュニケーションがとれる。 生徒自身がそれぞれイメージを固め、具現化できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。 なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	ケープ、タオル、ブラシ、ドライヤー、スタイリング剤					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・技術展示	授業の趣旨を把握する。シャンプーの目的手順を理解する。
2	シャンプー実習	相モデルでのシャンプー練習を行う。
3	シャンプー実習	相モデルでのシャンプー練習を行う。
4	シャンプー実習	タイム(15分)を重視したシャンプー練習を行う。
5	シャンプー実習	タイム(12分)を重視したシャンプー練習を行う。
6	シャンプー実習	タイム(12分)とクオリティを意識したシャンプー練習を行う。
7	中間テスト	相モデルでのシャンプーの実技試験を行う(タイム12分)
8	シャンプー、ブロー実習	シャンプー、ブローの手順を再確認し、ウィッグを使ったブロー練習を行う。
9	シャンプー、ブロー実習	相モデルでのシャンプー、ブロー練習を行う。
10	シャンプー、ブロー実習	タイム(40分)を重視した、相モデルでのシャンプー、ブロー練習を行う。
11	メンズスタイリング実習	ウィッグを使い、メンズの基本スタイリングを行う。
12	ブロー、スタイリング実習	相モデルでブローとスタイリングを行う。
13	シャンプー、ブロー実習	タイム(45分)を重視したシャンプー、ブロー練習を行う。
14	シャンプー、ブロー実習	タイム(40分)とクオリティを意識したシャンプー、ブロー練習を行う。
15	期末テスト	相モデルでのシャンプー、ブローの実技試験を行う(タイム40分)

科目名 (英)	パーソナルカラーⅠ Personal colorⅠ	年次	2	実務経験	担当	高橋 名都紀
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	後期
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2			
講師紹介	カラーリスト歴：14年。個人サロンを立ち上げ、パーソナルカラー診断・骨格診断・顔タイプ診断、メイクアドバイスを年間500名以上の方へアドバイスを行っています。個人だけでなく、企業、行政、学校などでパーソナルカラーセミナーや色彩セミナーを年間数十回担当しています。色彩に関する知識だけでなく、みなさんの色感やスキルアップ、ファッション&メイクセンスアップにつながるような実践的なお話やアドバイスもいたします！					
目的 科目概要	目的：似合う色を活用するポイントを学ぶことで、TPOに合わせた自分の魅せ方（自分ブランディングの仕方）を学ぶ。 概要：パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。 自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げること。 パーソナルカラー検定3級(2024年度冬季)の合格を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 □実技試験 □ 作品 ■提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級公式テキスト			事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、必要がある場合は検定対策として、ホームワークとして課題、復習、問題集、プリントの課題を実施いたします。 もし授業を欠席した場合は、授業の要点をまとめたものをTeamsにアップロードするので、必ず確認しましょう。（復習として使用可○）	
教材	新配色カード199a、PCCストーン別色相環、公式問題集					
特記事項	【カラーワーク】がある日は、必ず「はさみ、のり」を持参してください。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション パーソナルカラーと自分ブランディングについて	授業のオリエンテーション パーソナルカラー（似合う色）を知ることのメリットと概要を理解する。【カラーワーク】
2	色の三属性(色相、明度、彩度)	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)を学ぶ。
3	トーン(色の調子)	トーンの見え方と仕組みを理解する。 身の周りの色や指定された色をトーンでとらえられるように、慣れる。
4	パーソナルカラーの色分け 4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの色分け【カラーワーク】 4シーズンの色の特徴を見分け、色分類ができるように、色感を磨く。
5	色素の見分け方 色素チェック	生まれながらに持った色素(肌、髪、眼の色と質感)の特徴の見分け方のポイントと、色素と似合う色の関係性を学ぶ。自分はどんな色素を持っているのかを確認する。
6	中間試験 ドレーピングの仕方	20問／20点満点 選択問題 ドレーピングによる似合う色の見つけ方をおさえ、実習に備える。
7	ドレーピング実習①	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
8	ドレーピング実習②	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
9	似合う色の取り入れ方	4シーズンの似合う色の取り入れ方(ファッション、メイク、アクセサリ、柄、素材) 似合わない色の見え方も確認する。
10	対比 色名	色による顔色の見え方の変化を理解する。 系統色名と慣用色名の色の名前の使い分けのポイントを学ぶ。
11	反射・吸収 色と光	色はなぜ見えるのか？色と光の関係性を学ぶ。 検定に備えて過去問題を解き、問題に慣れる。
12	テスト対策	総復習。 期末試験・検定試験に備えて過去問題を解き、問題に慣れる。
13	期末試験(模擬試験)	89問／50点満点 選択問題 検定に備えて過去問題を解き、問題になれる。
14	期末試験 解説	間違えやすい問題、検定に出やすいポイント、覚えるところを確認する。
15	パーソナルカラー検定	60分 89問 マークシート 合格ライン80%

科目名 (英)	特殊メイクⅡ Special Efect Make upⅡ	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組水1・2限 2組水3・4限 3組金1・2限 4組金3・4限
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☐ 作品 ☐ 提出課題					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	手順が特殊なので前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なのでしっかりとメモを取り、何度か実践しいつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題を提出していただきます。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フェイクメイク①	【バズルメイク】顔にバランス良くジグソーパズルのピースを描くことができる。
2	フェイクメイク②	【ハーフ＆ハーフメイク】顔に男女の横顔を描き分けることができる。
3	フェイクメイク③	【アメコミメイク】アメコミ風の顔に見えるメイクをすることができる。
4	フェイクメイク④	【フェイスオフメイク】顔がはずれて見えるメイクをすることができる。
5	フェイクメイク⑤	【スライスカットメイク】顔が切れてずれて見えるメイクをすることができる。
6	フェイクメイク⑥	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクをすることができる。
7	中間試験	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクを時間内に仕上げる。(20点)
8	舞台メイク①	【キャッツメイク】デザイン・ライン・グラデーション・左右対称にこだわって作ることができる。
9	舞台メイク②	【宝塚男役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
10	舞台メイク③	【宝塚娘役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
11	舞台メイク④	【宝塚ハーフ＆ハーフメイク】半顔男役/半顔姫役をしっかりと作り分けることができる。
12	フェイクメイク⑦	【アニメメイク】眉・目・唇をアニメのキャラのように限りなく大きく仕上げることができる。
13	フェイクメイク⑧	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現を学ぶ。
14	フェイクメイク⑨	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現することができる。
15	定期試験	【スカルメイク】を限られた時間内で仕上げる(50点)

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ hair&make3	年次	2	実務経験	担当	足立祐季・長尾健
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	後期
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4			
講師紹介	現役ヘアメイクアップアーティストでヘアメイク事務所、セットサロンの経営してます。楽しく一緒に学びましょう。					
目的 科目概要	現場目線で実際に現場でオーダーの多い和装や地毛で結う花嫁向けの新日本髪を学ぶ					
到達目標	逆毛のスキルをマスターし、すき毛と併用して美しい面のスタイルが作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	授業中はしっかりメモをとり必ず復讐をすること。	
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	かぶせアップ	洋装、和装どちらでも対応できるスタイルを学ぶ
2	かぶせアップ	アイモデルにて美しいかぶせのアップを作れるようになる。
3	変わりシニヨン	変わりシニヨンの構成、名称を学び美しく仕上げる
4	変わりシニヨン	30分間で美しくスタイルを仕上げる
5	和装シニヨン	和装シニヨンの構成、名称を学び美しく仕上げる
6	和装シニヨン	30分間で美しくスタイルを仕上げる
7	中間試験	和装のスタイルを30分間で作る
8	下張和装	下張和装の構成、名称を学び美しく仕上げる
9	下張和装	30分間で美しくスタイルを仕上げる
10	新日本髪	30分間で美しくスタイルを仕上げる
11	新日本髪	新日本髪の構成、名称を学び美しく仕上げる
12	自由作品デッサンシート作成	デッサンシートを作成しオリジナルの和装作品を作る
13	自由作品アイモデル練習	デッサンシートをもとにアイモデル練習を行う
14	期末試験	和装スタイルを30分で美しく仕上げる
15	自由作品（和装）	ヘア、メイクをし、美しい和装の作品を作る

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅢ Still Hair MakeⅢ	年次	2	実務経験	担当	固本正美
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	後期
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4			
講師紹介	TVやスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	テーマに合わせて、ヘアメイク、衣装などを自分で考えて作品をつくる。作品をコンセプトシートにまとめ、オリジナルティーをより追及し、プロカメラマンに撮影してもらい作品を残す					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考えて、作品に落とし込むことができる。オリジナル作品をプロカメラマンに撮影してもらい自分の作品を残すことを目的とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☐ 作品 ☐ 提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	テーマに合わせたヘアアレンジ①	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する（メイクはポイントのみ）
2	テーマに合わせたヘアアレンジ②	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する（メイクはポイントのみ）
3	SDG's(エスディージーズ)を考える①	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる（1～9までのカテゴリーで決める）
4	SDG's(エスディージーズ)を考える②	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる（10～17までのカテゴリーで決める）
5	SDG's(エスディージーズ)を考える③	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる（1～17までのカテゴリーで決める）
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験（1回目）	フォトグラファーによる作品撮り①（相モデル）
8	中間試験（2回目）	フォトグラファーによる作品撮り②（相モデル）
9	2025年トレンド ヘアメイク（グループ制作）①	グループ制作 コンセプトシートの作成、担当分け、準備、撮影場所決め、モデルでテストする
10	2025年トレンド ヘアメイク（グループ制作）②	作品を完成させる。自分達で撮影する
11	JAPANENE 個人制作①	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
12	JAPANENE 個人制作②	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業 ヘアメイクのテスト・準備
14	定期試験（1回目）	フォトグラファーによる作品撮り①（相モデル）
15	定期試験（2回目）	フォトグラファーによる作品撮り②（相モデル）

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	後期
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(木1・2限)2組(木3・4限)3組(水3・4限)4組(水1・2限)
講師紹介	エステティシャンとして20年間に以上に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容の基礎知識を提供します。					
目的 科目概要	スキンケアの重要性と皮膚のしくみ、身体のしくみについて学ぶ。 エステティックにおけるフェイシャルクレンジング、フェイシャルマッサージ、リフレクソロジー等、エステティック市場で人気の高い技術を習得する。					
到達目標	皮膚や心身のしくみについて理解し、フェイシャルケア、ボディケアが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	AJESTHE：認定フェイシャルエステティシャン理論と技術			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エステティックとは／セッティング＆肩のマッサージ	エステティックの基礎知識を学ぶ。 セッティング、消毒、清掃法。肩マッサージの実践。
2	ホメオスタシスとストレス／フットマッサージ	ホメオスタシスとストレスについて学ぶ。 フットマッサージの実践。
3	エステカウンセリング／ハンドマッサージ	エステティックカウンセリングについて学ぶ。 ハンドマッサージの実践。
4	ヘッドマッサージとは／ヘッドマッサージ	ヘッドマッサージについて学ぶ。 ヘッドマッサージの実践。
5	リフレクソロジーとは／リフレクソロジー	リフレクソロジーについて学ぶ。 フットリフレクソロジーの実践。
6	皮膚の仕組みと働き／ハンドスクラブ	皮膚のしくみと働きの基礎知識を学ぶ。 ハンドスクラブの実践。
7	中間試験(筆記)／ハンドマッサージ技術 チェック	6回までの講義の理解度を確認する。 ハンドマッサージの技術力を確認する。
8	ホットストーンとは／ホットストーンセラピー	ホットストーンについて学ぶ。 ホットストーンセラピーの実践。
9	フェイシャルケアの基礎／クレンジング	フェイシャルケアの基礎やトリートメントの流れについて学ぶ クレンジングとホットタオル拭き取りの実践。
10	フェイシャルマッサージとは／リンパフェイシャルケア①	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
11	フェイシャルマッサージとは／リンパフェイシャルケア②	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
12	フェイシャルマッサージとは／リンパフェイシャルケア③	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
13	リンパフェイシャルケアの復習/ウッドランプ	リンパフェイシャルケアの復習。ウッドランプの実践
14	リンパフェイシャルケアの復習/ローションパック	リンパフェイシャルケアの復習。ローションパックの実践
15	定期試験(実技)	14回までの講義の理解度を確認する。【リンパフェイシャルケア】